

市会事務局決算の概要

1 決算総括

平成 30 年度は、大阪府北部地震をはじめ、7 月豪雨や台風 21 号など市民生活に多大な影響を及ぼした大規模災害に見舞われた。そのような事態を踏まえ、執行機関に対し迅速な対応を求めるとともに、提案された補正予算の審査のため、本会議日程等を追加するなど、市政の課題に対応した議会運営のサポートを行った。

また、これまでから積極的に展開している「見える市会」「伝わる市会」の実現に向け、初の試みである市会議場一般公開を実施したほか、市会活動や議員活動をより分かりやすく、しっかりと伝わるものへとつなげていく取組として、京都市会史の編さんや会議録検索システムのリニューアルを行うなど、更なる広報機能の充実を図った。

今後とも、二元代表制の一翼を担う京都市会が、市民の皆様からの負託に応え、市民生活の向上と京都市の発展に貢献できるよう、事務局機能を確実に発揮し、的確なサポートを行っていく。

2 重点取組の実績

(1) 円滑な議会運営及び活発な議会活動の支援

取組名	実績
円滑な議会運営の支援	・円滑な議会運営に向けた各党派及び執行機関との確実な連絡調整の実施 ・台風 21 号等の災害への迅速な対応のため、9 月市会において本会議日程等を追加

(2) 「見える市会」「伝わる市会」の実現に向けた取組の充実

取組名	実績
市会議場一般公開	・京都市で初の試みである市会議場一般公開を実施 (6 日間の開催で 1,081 人が来場)
京都市会史編さん	・市民に市会のあゆみを網羅的に知っていただくこと、また、市民の代表である市会の更なる活性化を目的として、市会・市政の動きや市会改革・市会活性化の取組等を振り返る市会史を編さん
会議録検索システムをリニューアル	・京都市会ホームページ内の会議録検索システムについて、文字の大きさの変更や期間指定による検索の機能等を追加

(単位:千円)

3 市会事務局所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
諸 収 入	-	65,935	-	△ 65,935
計	-	65,935	-	△ 65,935

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
議 会 費	608,000	555,535	-	52,465
議 会 費	608,000	555,535	-	52,465

4 市会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項目	主要施策の概要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	608,000	608,000	555,535	52,465
(1 議会運営)		608,000	608,000	555,535	52,465
地方分権に 対応した議会 機能の充実	政務活動費	434,160	434,160	425,680	8,480
	他都市行政調査、本会議録・委員会記録作成等	88,847 (△ 300)	88,547	57,004	31,543
	市民に向けた情報発信 市会だより作成・配布 会議録検索システム インターネット動画配信 本会議テレビ中継の実施 市会広報ポスターの作成 など	71,262 (300)	71,562	65,678	5,884
	京都市会史（資料編）編さん <政策>	3,000	3,000	2,083	917